

コース設定における位置説明表の背景のブロックアウト（白抜き）

これまでコース地図の印刷において、コース・オプションで「白地の背景」にチェックを入れていても、ドラフトモードにすると、白地の背景は反映されませんでした。今回のアップデートで、ドラフトモードでも反映されることになり、従来のように地図上で白の背景を作る必要なくなりました。

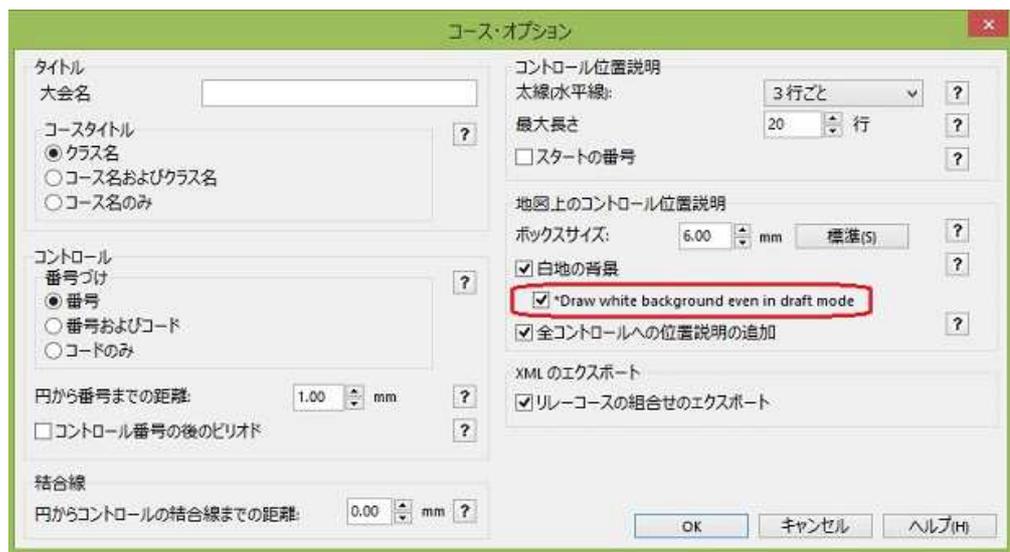
さらに、コントロール番号についても、文字の縁どりを白抜きすることが可能となりました。ただし、このコントロール番号の部分は透明化されません。

コントロールの透明化のためにドラフトモードを使用しますが、これで面倒な白抜き作業をする必要はなくなりました。

【操作方法】

1. 位置説明表の背景

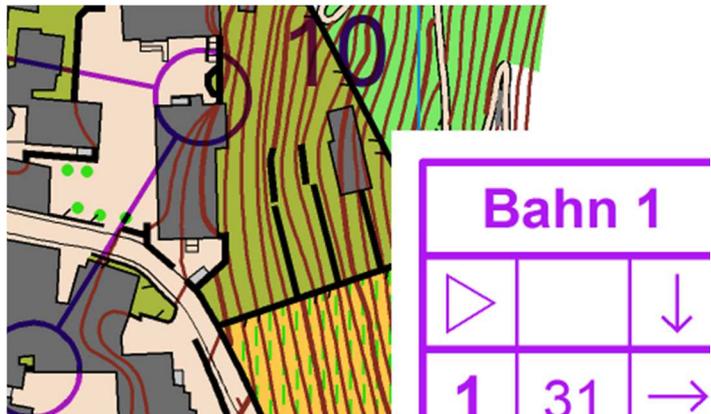
- ・ [コース設定] – [オプション] において、{白地の背景} とともに {*Draw white background even in draft mode} にチェックを入れる。



- ・ [表示] – [ドラフトモード] にし、スライダ（M、B とも）を右端に移動する。



- ・ コース設定画面で、{コース} でコースを選択し、{プレビュー} ボタンをクリックすると、白地の背景（白抜き）の位置説明表が表示される。

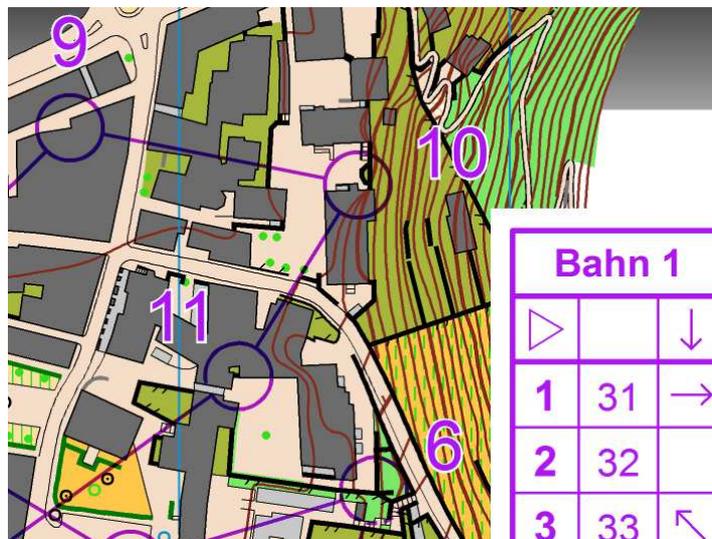


2. コントロール番号の縁どり背景

- 記号ボックスにおいて、コントロール番号に使用している記号 703.000 (T18 デフォルト) を選択し、右クリックまたは [記号] の [編集] をクリックすると、[文字記号の編集] 画面が表示される。
- デフォルト*では、{色} として {160: Purple for control} となっているが、これを {60: Purple for description} に変更する。
- [輪郭] タブを選び、{線} にチェックを入れ、{幅} を 0.2mm、{線のスタイル} を切落し (先端) とし、さらに {色} を {98: White behind description} に変更する。



- 画面を閉じ、{コース} の {プレビュー} ボタンをクリックすると、縁が白抜きされたコントロール番号が表示される。



- この手法はコントロール番号が地図に埋もれて見にくい場合に有効であるが、透明化処理は施されないため、その配置等に配慮が必要である。

【参考】

(1) デフォルト*： OCAD 記号セット JSCD2008_JSOM および JSCD2008_JSSOM による。
OCAD 記号セットは、下記よりダウンロード可能。

CAMap 研究会： http://homepage3.nifty.com/joa-kinki/camap_forum.htm

(公社) 日本オリエンテーリング協会： <http://www.orienteering.or.jp/rule/>

(2) デフォルトの色設定 (JSCD2008_JSOM.ocd、JSCD2008_JSSOM.ocd)



91、99 は使用しない。

(3) コントロール記号 (△、○、◎、レグ線など) は、透明化処理が必要なため、色設定は変更しないこと。

作成：尾上俊雄 (2014.2.18)